

東広島地区下水道施設リダンダンシー強化事業 事業計画書

1 リダンダンシー確保の対象管路

高屋圧送幹線（広島県東広島市）

＜重要管路＞

- ・緊急輸送道路（一次：県道高屋停車場線）の下に埋設された管路（起点：東広島市高屋町杵原 1143-3 地先 終点：東広島市高屋町杵原 1344-3 地先）
- ・軌道（ＪＲ山陽本線）の下に埋設されている管渠（起点：東広島市高屋町桧山 837-3 地先 終点：東広島市高屋町桧山 886-2 地先）
- ・河川（二級河川：入野川、杵原川 普通河川：栗本川、桧山川）を横断する管路（起点：東広島市高屋町杵原 1143-3 地先 終点：東広島市高屋町桧山 884-3 地先）

＜重要管路の修繕や改築が困難な理由＞

- ・圧送管で管内水位が満管（ $\phi 500\text{mm}$ 、揚水量 $10.6 \text{ m}^3/\text{分}$ ）で改築を実施できない

2 事業の内容

（１）管路のリダンダンシー確保のために実施する事業

- ・複線化事業（推進工法 0.2km、開削工法 3.0km、口径 $\phi 500 \text{ mm}$ ）
場所：高屋圧送幹線（広島県東広島市）

3 補助金の算定根拠

総事業費 約 19 億円

単位：百万円

年次計画及び年割額									
事業内容		令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和13 年 度	計	事業量
管路 施設	高屋圧送 幹線複線 化事業	127	349	349	349	349	349	1, 872	3, 200 m

4 整備効果

- ・重要管路である高屋圧送幹線の改築が可能になる

5 その他の総合的な水位低減方策

- ・既存ストックの活用も検討した結果、改築可能な時間を十分に確保する効果を得られなかった。